



さかとく進路だより



高等部 デュアルシステム型現場実習

高等部総合サービス班では、校内だけではなく、校外で定期的の実習を行い実習で出てきた課題を学校で練習し、練習したことを次の実習で実践することを繰り返しながら、職業自立に必要な力の育成や個々の課題の克服を目指す「デュアルシステム型現場実習」（デュアルシステムとは、ドイツで始まったマイスター制度のことで、「教育」と「職業訓練」を同時に進めるシステムのこと）に取り組んでいます。

今年度も「ウエルシア茨城境町店」「坂東太郎」の2カ所で年間10回実施させていただくことになりました。「ウエルシア茨城境町店」では、品出し・接客・清掃等、「坂東太郎」では、ビニールハウスで果物栽培の作業をさせていただきます。

火曜日か木曜日の午前中、各事業所での実習をさせていただき、午後は学校で振り返り学習を行います。やったことを思い出したり、動画を見たり、友達や教師からの評価を元に振り返りをしたりして、自分の課題を知り次に生かすために何をしていけばよいかを考えています。デュアルシステム型現場実習で学んだことを、今後の生活や実習で実践できるように期待しています。

<第1期現場実習の報告>

6/3～6/14 第1期現場実習を行いました。今回は、5つの企業と16の福祉施設にお世話になりました。実習期間中は、各自の目標を達成するために、皆さん一生懸命に取り組むことができました。また、実習の反省会では、将来に向けての大切な内容がありましたので、今後の学校生活や実習で活かしていきたいと思います。

<大切なこと>

- ・元気な挨拶ができる。
- ・返事や報告がよくできる。
- ・休まず元気に出勤、通勤できる。
- ・毎日自分で通勤できる。
- ・企業のニーズ（作業内容、勤務時間、求められている人材）と本人の実態が合っているかどうか。
- ・従業員の方と仕事上のコミュニケーションを図ることができる。
- ・施設職員さんの見守りだけでも落ち着いて過ごすことができる。
- ・施設職員さんの指示を素直に聞くことができる。
- ・他害や飛び出しせず過ごすことができる。



※本日「福祉施設ガイドブック」を配付しました。興味のある施設については、積極的に見学や利用をすすめておくとういと思っています。